

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月 6日 更新

事務事業名		学校・家庭・地域連携推進事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	4 子育て支援の充実				所属課	生涯学習課	担当者名	植田 恵
	施策の柱	17 地域における子育て支援				所属班	生涯学習班	(内線)	1506
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番11291	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成23年度から学校支援地域本部事業として国・県・市と1/3ずつ費用負担をし地域と学校を結ぶコーディネーターを育成する事業。「西合志第一小ボランティアの会」が活動している。 平成27年度から地域未来塾事業として国・県・市と1/3ずつ費用負担をし中学生を対象に地域住民による学習支援を実施する事業。西合志中学校地域未来塾を実施している。
【業務の流れ】	学校支援地域本部事業計画提出→事業採択→各実行委員会補助金交付→事業終了後精算報告 地域未来塾事業計画提出→事業採択→事業実施→事業終了後実績報告
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	地域未来塾については、合志中学校、西合志南中学校でも事業推進していきたいとの声があがっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) 西合志第一小ボランティアの会へ補助金を交付した。 「西合志中学校地域未来塾」を実施し、地域住民による学習支援を行った。		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 西合志第一小ボランティアの会へ補助金を交付する。 「西合志中学校地域未来塾」を実施し、地域住民による学習支援を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日	予算の主な増減の理由
→ ア:年間活動実施数	イ:	家庭教育活動事業補助金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
西合志第一小学校区の住民	→ ア:地域教育コーディネーター数	イ: 人
西合志中学校区の住民	イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
地域で子どもを見守っている。	→ ア:地域のボランティア数(子ども110番の家の数、子ども会の組織数、子育てサークル・母親クラブの数)	イ: 件
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
地域子育て力の向上を図るために団体に補助をし、地域、学校、家庭がひとつになり学校教育を支援するにあたり、実施回数を設定している。		2,563

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	日	0	94	50	50	50	110	110	110
	イ									
② 対象指標	ア	人	5	5	5	8	5	15	15	15
	イ									
③ 成果指標	ア	件	330	305	370	349	375	380	120	120
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	346	1,673	458	284	380	300	300
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	199	981	463	427	1,275	1,200	1,200
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	0	1	0	4	0	0	0
		延べ業務時間	時間	0	50	0	153	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	0	0	605	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	545	2,654	921	1,316	1,655	1,500	1,500	1,500

事務事業名	学校・家庭・地域連携推進事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度的事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 本事業に参加する生徒について成績のあがり成果があらわれた。今後、地域の支援者を増やし多くの生徒が参加できるよう努めたい。
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業の範囲内で工夫を凝らして実施しているため
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 地域には潜在的な協力者があると思われるので、事業の趣旨を浸透させることで成果向上が期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 本事業は、国・県からの補助事業であるため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の2/3が国・県から補助されるので、削減は考慮していない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】学校と地域をつなぐコーディネーターの謝金のみが人件費となるため削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】国からの受託事業であり、受益者負担の考え方になじまない事業である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域住民、学校が一体となって既に取組んでいる。

3 評価結果の総括（CHECK）

学校・家庭・地域の連携が図られ、地域の特性を生かした教育力の向上が図られている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												